

カリキュラム

機構施設名： 山口職業能力開発促進センター
 実施機関名： 株式会社日本能率協会コンサルティング

| | | |
|-------------|-------|--------------------------------|
| (A) バックオフィス | 新技術活用 | DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進 |
|-------------|-------|--------------------------------|

| | |
|---------|---|
| コースのねらい | DX(デジタルトランスフォーメーション)による企業変革の有効性を理解し、自社のDX推進に向けたポイントを習得する。 |
|---------|---|

| 講義内容 | 「基本項目」 | 「主な内容」 | 訓練時間(H) | |
|------|--------|---------|---|-----|
| | 1 | DX概論 | <ul style="list-style-type: none"> ・DXとは ・DXで目指したいこと ・なぜDXが必要か ・DXの3つのステップ ・データ利活用に向けて ・ITが無くてもできるDX ・DXのステップ別ポイント | 2.0 |
| | 2 | DX導入事例 | <ul style="list-style-type: none"> ・様々な業種・業態におけるDX事例(大企業から中小企業まで) ・製造業におけるDX事例 ・サービス業におけるDX事例 ・開発設計部門におけるDX事例 ・管理部門におけるDX事例 ・品質管理・品質保証部門におけるDX事例～QC7つ道具活用も ・購買・倉庫・物流業務におけるDX事例 ・スマート工業団地事例 <li style="text-align: right;">等 (演習) チーム検討/事例から学ぶこと | 2.0 |
| | 3 | DX戦略の導入 | <ul style="list-style-type: none"> ・DX戦略の立案に向けて ・3C分析とマーケティング ・自社のビジネスプロセス、ビジネスモデルを改めて見直す(演習) ・業務プロセス分析検討 ・まとめ | 2.0 |
| 合計時間 | | | 6.0 | |

| |
|---|
| カリキュラム作成のポイント |
| DX推進に向けて、他社事例もふまえながら、DXで目指す目標を確認する。 また、自社でDX推進するためのグループディスカッションをベースにした業務分析、革新アプローチ、実施課題を議論し、実践的な研修とする。 本研修における演習は様々な企業の方でもディスカッションできるよう工夫しています。 |

| |
|---|
| 講師から一言 |
| DXをデジタル化目的でなく、生産性向上、省人化等の目指したい姿を目指す手段として、また仕事のやり方を見直す良い機会として、一緒に勉強していきましょう。 |